第１回　阿智村学校のあり方検討委員会　会議録

○ 会議日時　令和６年４月 16 日（火）午後４時

○ 会議場所　阿智村中央公民館　会議室

○ 出 席 者　委員長：岡庭　　潤　副委員長：伏木　久始　代田　昭久
委　員：熊谷　和洋　増田亜由美　　熊谷　節子　　井原　　毅
近藤　忠雄　田島　佳世　　熊谷　安倫　　熊谷　直哉
上條　雪絵　関　　雅夫　　原　　耕　　小笠原和司
白澤　裕次　逸見　貴子　　井原穂奈美　　佐々木哲志
櫻井　　朱

【教育委員会事務局】
教育長：黒柳　紀春　教育次長：川上　悟　学校教育係：村田　浩一
学校教育専門主事：松澤　徹（全体進行）　川上　清宏　佐々木　豊
英語教育専門員：両角　明浩

（欠席　なし）

○集合写真撮影（第２会議室）

１　開会の言葉　（教育次長）

２　委嘱　（教育長）

３　教育長挨拶・諮問

(1) 挨拶

ただ今、阿智村学校のあり方検討委員会委員の委嘱状をお渡しいたしました。委員の皆様には、今後 2 年間にわたって、これからの村の子どもたちの教育の在り方、 また学校のあり方についてご検討をいただき、教育委員会に答申をしていただくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。

７年前、浪合小学校の新入生が 1 人になるとの状況から、村教育委員会では学校のあり方は今のままで本当に良いのかとの課題意識から、小規模校学校課題研究委員会を立ち上げました。主に複式学級の導入について研究を進め、学校とＰＴＡ、地域住民、 村長部局や議会の皆様と視察や研究を重ねて複式学級の導入を進めてまいりました。この 4 月には、清内路小学校の全学年と浪合小学校 1、2 年生で複式学級が導入されております。

ここ 2、3 年はコロナ禍もあり、村内では急速な出生数の減少が進みました。

こうした状況に対応して、村教育委員会では阿智村第６次総合計画後期計画において、従来の小学校のあり方を「研究」するから一歩踏み込んで「検討」するに改め、本日の学校のあり方検討委員会の発足に至っております。

委員の皆様には大変な重責を担っていただくわけですが、本来、教育を語るということは 村の子どもたちの明日を語ることであり、村の将来のあり方を語る、明るく前向きなものです。どうか、20 名の皆様で知恵を絞り、アイデアを出し合っていただき、大いに村のこれからの教育と学校の在り方について夢を語っていただきたいと思います。

(2) 諮問

諮問内容は、大きく３点ございます。

１つ目は、今後の時代、社会を見据えた学校と地域との関連性について。阿智村における人口減少、高齢化が予測される状況で、地域とのつながりや関係性において 学校にはどのような役割が求められるのか。今後の学校と地域の在り方やその可能性について、具体的な案の提出を求めます。

２つ目は、持続可能な学校のための教育理念や目標、制度等について。

阿智村の小中学校における急激な児童生徒数の減少が予測される中、持続可能な学校であるためには、どのような教育理念や教育目標を掲げ、どのような学校経営や制度を導入していったら良いのか、具体的な案の提出を求めます。

３つ目は、これからの子どもたちに育むべき資質や能力について。

ＡＩ（人工知能）の進化やグローバル化が進み、仕事や働き方が大きく変化していくことが予想されています。こうした社会で生きていく子どもたちに必要な教育とは何か。子どもたちが身につけてほしい 資質・能力について、具体的な案の提出を求めます。

４　村長挨拶

第１回目のあり方検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。２年間、委員として検討をいただくことになります。この背景には子どもの減少傾向が一番大きくあるのですが、村といたしましても、特に人口の問題では、今から 10 年前が人口 6700 人、去年はついに 6000 人を切ってしまいました。大体、年間 70 人くらい減少しております。中でも、令和５年度の出生数が 19 人という、本当にショッキングな数だと思います。この人口 6000 人の村に小学校が５つあるということも含めて、これからの学校のあり方、教育方針について、ぜひ皆さんに忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

後ほど委員の皆さんの自己紹介をしていただくことになりますが、各地域からいろいろな幅広い年代の方、そして産業界、医療・福祉の方など、様々な分野の方に出席していただいております。そして、子育てをされたり、ご自分が

阿智村の学校を卒業されたりして、いろいろな思いの中で出席してくださっております。そんな中で忌憚のないご意見をいただければありがたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

5　自己紹介

6　正副委員長選出と小委員委嘱

(1) 議長選出

・白澤　裕次委員

教育委員会事務局で案がありましたらご提案いただきたいです。

(2) 事務局案提案（川上次長）

・委員長に岡庭潤さん、副委員長に伏木久始さんと代田昭久さんを提案させていただきます。

(3) 承認

7　委員会推進計画

(1) 教育委員会担当専門主事説明　（松沢専門主事）

要旨① ２年間の見通し、中間まとめと答申について

② PTA への説明、地域への説明について

③ 講演会、フォーラムについて

④ 情報公開ガイドラインについて

ア　ケーブルテレビは本日の会議内容はすべて放映。以後、小委員会と本委員会の協議部分はカットする。

イ　傍聴は原則公開だが、状況によって自由な発言が難しいと思われる場合は秘密会とすることもあり得る。

(2) 質疑　特になし。

8　阿智村の現状と課題

・教育委員会説明（松沢専門主事）

資料名　「阿智村の現状と課題」

要旨(1) 令和６年度の児童生徒数

(2) 教育予算

(3) 令和６年度　重点施策

(4) 児童生徒　支援体制

(5) 学校教育係管轄の３委員会

教育委員会による村費支援員等の配置

(6) ふるさと学習委員会

(7) オーストラリアとの交流事業
令和３年度からの海外交流事業、2024 年度阿智村海外語学研修事業
(8) 小学校からの英語検定・算数数学検定
(9) 阿智村児童生徒数の推移(新入生数の推移)
(10)阿智村内の学校施設　（建設年、長寿命化計画報告書より）

9　情報提供
(1) 伏木　久始副委員長（有識者）
資料名「これからの時代を生きる阿智村の子どもたちにどんな学校教育を提供するのか？」
要旨 ①わが国の将来的な人口減少予測
②学校に期待されている学びの変化
③目の前の子どもたちが社会で活躍する時代
④コロナ禍で…オンライン授業が進化
⑤社会はどう変わるか
⑥Society5.0 時代の到来
⑦Society5.0 時代の新技術
⑧従来の常識が未来を生きる子どもたちには足かせになるかも？
⑨参考）個性を自覚させない管理的教育
⑩平等(equality)から公正(equity)へ
⑪「まわりの人と違っていい」…植松電機社長(談)
⑫２教科同時並行・自由進度学習
⑬無学年自由選択ドリル学習
⑭指導者であることの意味
⑮自律的に学ぶ学習者を育てる
⑯脳科学の知見をふまえた指導の必要性
⑰家庭教育や幼児教育で期待されること
⑱少人数の弱みを克服する挑戦
⑲次世代型教育のフロンティア
⑳未来を生きる子どもたちにとって必要な阿智村の教育環境を考える
(2) 代田　昭久副委員長（有識者）
資料名「地域の教育力（社会教育）の充実と子どもたちに育む新しい力
～学校、家庭、地域が相互に連携するこれからの地域のカタチ～」
要旨 ①はじめに
学校教育の変革が迫られる中、「地域の教育力(社会教育)」の充実と「変革を起こしていく力」を育むチャンスです
②自己紹介

③教育の現状

ア 学校教育における働き方改革は急務

イ 不登校児童生徒数は過去最多を更新

ウ 「一般入試」以外の大学入学者は5割を超える

エ 子どもたちの声

ァ)生徒はどんな活動を望んでいるか

ィ)地域活動への意向

オ 飯田下伊那での実践・エンジョイスクエア

～子どもたちがやりたいことに挑戦できる第3の居場所づくり～

10　協議

(1) 白澤　裕次委員

効率とか合理化というのがある意味、産業界で必須な部分になっています。教育というのは僕のイメージの中ではあんまり効率化とか合理化ではなかったのですね。ただ、今、伏木先生のお話や代田さんのお話を聞いてみると、そういう考え方で進んでいて、教育そのものも将来、ものすごくいいものになるのではないかと思います。話を聞いて参考になったし、これから参加する上でも、今日の話がなかったらほとんどイメージとしては湧かなかったので、すごく参考になりました。

(2) 熊谷　和洋委員

最初に、出生率の実情を見ると非常に危機感を感じたところがあります。各地域のしがらみ等もあるとは思いますが、やはり10年、20年後の学校のあるべき教育の姿をしっかり描いた上で、今どうしていくのかを考えていくことが必要だと強く思いました。学校教育の大きな流れというものを今、先生の方から教えていただきましたが、阿智村にフィットする教育をきちんと考えていかなければいけないということを強く決意できたと思います。大変参考になりました。

(3) 増田　亜由美委員

正直、お二人の話を聞いて胸がいっぱいです。阿智村としてどうやっていけるのかを考えると飯田とは違う、県とはまた違うのだろうと思います。学校の保護者としてはこれがいい、でも地域の方としてはこれがいい、村としてはこれがいい、とかいろいろな意見や考え方があると思います。それをすり合わせて、最終的にそこで教育を受ける子どもたちが満足でき、教えてもらうことが楽しい学校ができるのかを考えていきたいと思います。今日、いろいろな話を聞いて、自分たちでそれができたという成果を感じられたらいいとすごく感じたので、この2年間一生懸命やっていきたいと思います。

11　連絡

(1)小委員会委員の委嘱状を今週中に発送。小委員会　　５月 24 日(水)

(2)第２回阿智村学校のあり方検討委員会開催予定日　　６月４日(火)

(3)「これからの学びのあり方」(仮) オンライン講演会５月 18 日(土)

12　閉会

(閉会　午後６時 10 分)

教育長・委員長　署名／捺印